

りつい

アジア地区で初開催！新しいパラテニス「立位テニス」の国際大会
世界中の立位テニス選手が初めて日本にやって来ます

TAP JAPAN OPEN 2025

Para Standing Tennis
Asian Championships

観戦無料

「立位テニス」とは手や足や体幹に障がい
を持つ肢体不自由の方が車いすを使用せず
立って行うパラテニス競技です。

立位テニス

**SAVE
THE
DATE**

2025年

5月29日(木)～6月1日(日)

事前練習 5月28日(水) PM～

Calligraphy by Atsuko Yuki

重兵衛スポーツフィールド中台

千葉県成田市中台 5 丁目 2 番地

(予備会場) 6月1日(日)のみ雨天の場合

kensho tennis school 成田

千葉県成田市ウイング土屋 156 番 2 号

JASTA

主催：一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

<https://www.jastatennis.com>



世界中から立位テニス選手がやってきます

ぜひ応援よろしくをお願いします

PST-1



PST-2



PST-3



PST-4



PST-5



※ここで紹介している選手は過去の大会に出場した時の写真を本人許諾の上、参考として掲載しております。

■ 協賛企業募集 ■

この大会へご協賛頂ける企業団体様を広く募集中です。アジア初の大会と一緒に作り上げて Sports SDGs を実現しましょう。下記お問合せメールよりご連絡お待ちしております。

■ 出場者募集 ■

手や足や体幹に障がいをお持ち（身体障害者手帳を保有）の肢体不自由の方が競技対象者です。出場を希望される方は、大会 web ページより申し込み要項をダウンロードの上、お申し込み頂く予定です。申し込み開始 2025 年 2 月予定

■ 立位テニス競技ルールは ■

公平に試合を行うため障がい別にクラス分けを行い、同じ程度と判定された選手同士が対戦するフェアな競技です。返球バウンド数は、PST-1 と PST-2 は 1 バウンドまで、PST-3 以降は 2 バウンドまで認められます。また JASTA は国際クラスだけでは全ての競技者に対応できないため、独自のクラスも設定しています。PST-5~6 のコートサイズと使用球は ITF 推奨の「Play & Stay」オレンジステージと同じです。今大会では PST-1~5 のクラスが開催されます。

| | 国際クラス | | | | JASTA 独自クラス | |
|----------------|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|--|-----------------------------------|
| クラス分け | PST-1 | PST-2 | PST-3 | PST-4 | PST-5 | PST-6 |
| 旧カテゴリー | A1 | A1 | A | A or B1 | B1 | B |
| 障がい例 | 上肢障がい 上肢の切断・欠損 ・先天性奇形 脳神経障害等 | 上肢・下肢障がい 下肢の切断・欠損 ・先天性奇形 病変や外傷による片麻痺 | 上肢・下肢障がい 大肢の切断・欠損 ・先天性奇形 病変や外傷による片麻痺 | 低身長 軟骨形成症 または矮小症のもの (13 歳以上) | 上肢・下肢障がい 両足の切断・欠損 ・先天性奇形・脳性麻痺 病変や外傷による片麻痺 | 上肢にも下肢にも障がいを伴う方がより顕著な障がいを伴う方がより顕著 |
| 運動機能例 | 下肢に障がいがない | 下肢に中程度の障がいを伴うが上肢には無いが非常に軽度 | 下肢に顕著な障がいを伴うが上肢には無いが非常に軽度 | | 上肢にも下肢にも障がいを伴うが下肢の方がより顕著 | 上肢にも下肢にも顕著な障がいを伴う |
| コートサイズ (シングルス) | 78ft × 27ft (一般と同じ) 約 23.8m × 8.2m | | | | 60ft × 21ft (点線範囲) 約 18.3m × 6.4m | |
| 使用球 | 一般球 | | | | オレンジボール | |
| バウンド数 | 1 | | | 2 | | |

競技名の英語表記は「Para Standing Tennis」が主流となっています。クラス名称の PST はこの頭文字を取ったものです。

■ パラリンピックの種目入りを目指しています

「立位テニス」とは、手や足や体幹に障がいを持つ肢体不自由な方が車いすを使用せず、立って行うパラテニスです。2024 年に欧州で開催された国際大会 2 大会は初めて国際テニス連盟の公認を得て実施されました。グランドスラム大会においても、競技紹介のデモンストレーションや招待試合が行われています。世界が注目しているこの競技のアジア地区で初めての国際大会がついに 2025 年に日本で開催され、国内外の立位テニス選手が熱戦を繰り広げます。

立位テニスは近い将来のパラリンピック正式種目入り、プロ競技化を目指しています。日本では競技の普及や選手発掘のため 2018 年に一般社団法人日本障がい者立位テニス協会が設立されこの競技の中央競技団体として活動しています。年間数回の国内大会や月に数回の定期練習会などを実施しています。

■ 工夫の仕方は人それぞれ、違いが見どころ

肢体不自由者のテニスと言えば、「車いすテニス」を思い浮かべる方が多い事でしょう。しかし、全ての肢体不自由者が車いすでテニスができるでしょうか？腕の一部が無い方は？片麻痺の方は？ラケットを持ったまま車いすを操作するのは困難です。義足などで日常的に車いす使わない障がいの場合はテニスをする時も「立って」行いたいと考える人もいます。選択肢の一つとして立位テニスが必要なのです。見どころは選手一人一人の違いです。サーブの仕方もラケットの持ち方も各選手が自分の障がいに合わせて工夫しています。たとえ指が一本も無くてもラケット操作は可能です。

■ 大会名の TAP とは ■

この競技の国際大会発祥の地、南米チリの公用語であるスペイン語で **Tenis Adaptado de Pie** の頭文字を取ったものです。Tenis はテニス、Adaptado は障がい、de Pie は立っている状態を指し、日本語に訳すと「障がい者立位テニス」となります。Adaptado は直訳すると「適応する」ですが、それぞれの身体状況に適応している状態を示すものとして障がいを示す単語として使われています。英語圏では障がい者を示す単語として Handicapped は差別用語として認識され既に死語となっています。Disabled や Disability も同様の考えで使用されなくなりつつあり現在は「Adaptive」が使われるようになってきました。一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会の英語表記は、**Japan Adaptive Stand-up Tennis Association (JASTA)** です。

■ お問い合わせ ■

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会 (JASTA)
TAP JAPAN OPEN 2025 大会事務局 担当: 柴谷玲子 (しばたにれいこ)
E-mail: info@jastatennis.com 電話: 090-3918-5148

関東地区で練習会あります
JASTA ウェブサイトはこちら

